

科目番号	59	科目名	経済学特殊講義Ⅱ(金融・証券分析基礎)(E)		
英文科目名	Topics in Economics II Introduction to Financial Analysis(E)				
大学・短期大学名	立命館		大学		
連絡先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1				
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935	
担当教員	三好 秀和 ( 経済 学部 招聘教員 )				
実施方法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	BKC	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス		
授業期間	2022年8月29日(月)～2022年9月3日(土) <夏集中講義Ⅰ> 6月頃受講者に詳細なスケジュールを配布				
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考□				
成績評価方法	定期試験(筆記)				%
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)	100			%
	その他( )				%
別途負担費用	なし		あり( )円		
その他特記事項	<p>&lt;講義概要・到達目標&gt;</p> <p>【授業の概要と方法】  夏季集中講義である。集中して学ぶことができる。事前登録が必要となるので注意してほしい。講義形式で行う。一日のまとめを提出して次の授業の時に全体コメントする。復習、予習に生かしてほしい。優れたまとめに対しては加点をする。優れたまとめと自分が作成したまとめとを比較して復習に生かしてほしい。授業に出席しているだけでは平常点にならない。積み上げ学習が必要な科目であることを認識してほしい。</p> <p>証券アナリストの基礎的な内容を講義する。アナリストを目指す学生だけではなく、インベストメントバンキング部門の金融機関や経営企画部門、IR部門の担当者を目指すための基礎知識内容である。また、就職活動を通じて企業と接点をもつことになる学生がこれまでの学習を元に企業活動の実態を理解する上で役立つ授業となる。企業とは何か、その活動を支える資本市場の意義を理論と実例から学ぶ。</p> <p>【受講生の到達目標】  1.金融・証券分析の基礎知識を学ぶことができる。  2.企業の行動原理を理解することができる。  3.現実のトピックスを通して企業活動のダイナミズムを実感できる。</p> <p>【成績評価方法】  選択問題による筆記試験評価55%  日常的な授業における取組状況の評価 45%(授業に積極的に参加したり卓越した発言などは加点することがある。)  ※コロナの状況等により、WEBリアル授業となった場合には筆記試験に代わってレポート提出となる。日常的な授業における取組状況の評価45%についても授業のまとめなどの小レポートを求める。授業に積極的に参加したり卓越した発言などは加点することは対面、WEBともに実施する。</p> <p>【授業外学習の指示】  復習に重点を置いて学習してもらいたい。特に授業中に指示するテキストの学習範囲は定期試験に直接結びつくので復習する。講義を聴くだけでは自分の実力とはならない。手を動かし、電卓をたたいて初めて習得できるものと心得る。ゲスト講師の予定により授業内容が前後する可能性があることを了解すること。</p> <p>【受講および研究に関するアドバイス】  積極的に努力し復習することを奨励したい。経済や金融は現実の世界で動いている。日々変動する金融理論は机上の空論ではない。また、就職時期になって対策を立てるようなことでは心もとない。経済の基礎的な知識は大学生の早い時期にしっかりと身に付けておくことと視野を広げる意味でもよい。</p>				

＜授業スケジュール＞

回	月日	テーマ・キーワード
1	8月29日	(1)ガイダンス 就職活動と通じて企業を知る意義、上場会社と非上場会社、金融機関と事業会社、リテールとホールセールのちがいを理解する (2)株式市場と理論 株式の評価、DDM、収益率、効率的市場仮説、予測と情報、EPS、PER、PBR、 (3)債券市場と理論 金利と将来価値、期待リターンとリスク、資産評価、DCM、定率成長キャッシュフローの評価、債券の評価
2	8月30日	(4)設備投資と会社経営 コーポレートファイナンスとは、内部収益率、ハードルレート、資本コスト、期間回収法 (5)IR入門と資本市場 証券投資の意義と機能、経済と金融、証券市場、金利とリターン、企業金融と財務分析
3	8月31日	(6)アセット・アロケーション入門Ⅰ 分散効果、ポートフォリオ理論 (7)アセット・アロケーション入門Ⅱ CAPMと資本コスト (8)機関投資家と個人投資家 機関投資家、年金運用、資産運用プロセス、アセット・アロケーション、資産運用の評価、確定拠出年金制度、非課税の効果、運用商品の選択と投資教育、ライフサイクル、税金、非合理的な投資行動
4	9月1日	(9)ファンド入門 不動産投資とREIT、オルタナティブ投資、インフラファンド、ヘッジファンド (10)中間まとめ 資本市場、投資家、企業経営の全体の位置付けを考える。授業の進捗により割愛して講義を進めることもある。
5	9月2日	(11)株式投資入門 株式とは？私たちの生活と株式市場との関連性 (12)外国為替入門 為替市場とは？円キャリー取引とは (13)債券投資入門 国債、社債、格付け (14)トピックス
6	9月3日	コーポレートガバナンスコード、ステewartシップコードやビットコイン、ブロックチェーン、AIなどのトピックス。ただし、テキストの進捗により割愛して講義を進めることもある。 (15)デリバティブ入門とテスト フォワード、フューチャー、オプションとは

＜教科書・参考書＞

【教科書】

- ・『アナリスト基礎講座第1.2分冊』（日本証券アナリスト協会）：初回講義で案内する
- ・『日本経済新聞』（日本経済新聞社）
- ・『銀行・証券・保険業界のビジネスモデルで学ぶ 金融キャリアの教科書』三好秀和著（経済法令研究会 9784766833461）

【参考書】

『ファンドマネジメント大全』三好秀和編著（同友館 9784496050312）

【参考書(備考)】

多くの運用会社で利用されている実務書である。学生には運用会社の業務内容を知る上で有益であるが参考程度で購入する必要はない。3版で品薄状況であるため図書館で貸し出しを受けるのがよい。